

## 伴東小学校 第5学年図工科 シラバス

### 目 標

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
- (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。

5年生ではこんな学習をします。

| 月  | 学 習 内 容       | 時数 | 学 習 の ね ら い                                  |
|----|---------------|----|--|
| 4  | 【絵】わたしの顔      | 4  | 鏡をよく見て、顔のしわまで観察しサインペンで描き、三原色を使い着色する。         |
|    | 【絵】伴東の春       | 3  | 春を感じる草花を見つめながら線がきし、絵の 具を用いて着色する。             |
| 5  | 【絵】え？名前で絵     | 4  | 名前の文字をもとに発想を広げ、形や色を工夫して絵に表す。                 |
| 6  | 【工】板を切りぬいて    | 8  | 電動糸のこぎりを使って、楽しく選んだりかざったりするものを作る              |
| 7  |               |    |  |
| 9  | 【絵】想像のつばさを広げて | 6  | 自分が感じた雰囲気や伝わるように、心ひかれた物語の場面を絵に表す。            |
| 10 | 【工】使って楽しい焼き物を | 5  | 焼き物の成形と焼成について知り、自分で使ってみたい焼き物を、目的に合わせた方法でつくる。 |
| 11 | 【絵】感じたことを伝えたい | 4  | 身の回りを改めて見つめ、感じたことが伝わるように工夫して絵に表す。            |
| 12 | 【絵】刷り重ねて表そう   | 8  | ほったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりを確かめて、多色木はんじに表す。      |
| 1  | 【絵・鑑】不思議な絵    | 2  | 不思議に見える表現があることに気づき、その面白さを味わう。                |
| 2  | 【工】楽しく美しく伝えよう | 6  | 伝えたいことの内容に合わせて、表現方法を工夫して掲示物をつくる。             |
| 3  |               |    |  |

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

**学習に対する関心・意欲・態度** つくる喜びを味わいながら、様々な表し方を工夫して表現しようとする意欲や態度を評価します。

**思考・判断する力** 材料などの特性をとらえ、想像力を働かせて表し方を工夫して表現しているかを評価します。

**技能や表現する力** 道具を適切に使って、自分のイメージを表現しているかを評価します。

**観賞** 自他の作品を進んで鑑賞し、そのよさや美しさを感じとったり、作品を大切にしようとしているかを評価します。